

# 果樹カメムシ類情報第3号

平成29年9月1日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病虫害防除室

## 今後、果樹カメムシ類の飛来に要注意。

### 1 果樹カメムシ類の発生状況

- (1) 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺数は、豊橋市、新城市ともに少ない状況が続いています(図1)。また、フェロモントラップにおける誘殺数も、豊田市、幸田町、豊川市、新城市のいずれの地域においても、少ない状況が続いています。
- (2) その他の果樹カメムシ類では、豊橋市の予察灯で誘殺されたクサギカメムシとツヤアオカメムシ個体数が8月中旬以降平年値を上回り、増加傾向を示しています(図2)。

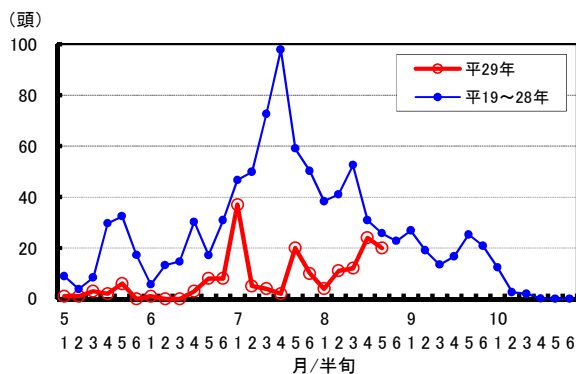


図1 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況(豊橋)

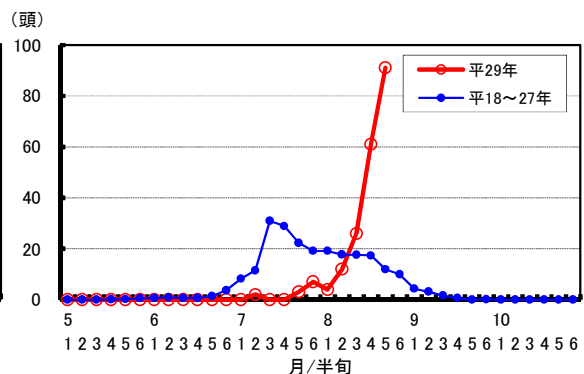


図2 予察灯におけるクサギカメムシの誘殺状況(豊橋)

### 2 ヒノキ球果における果樹カメムシ類の寄生調査

- (1) 8月中旬のヒノキ1結果枝当たりの生息虫数はチャバネアオカメムシが最も多く、成虫が0.35頭、幼虫は0.27頭でした。一方、クサギカメムシ(成虫0.13頭、幼虫0.12頭)とツヤアオカメムシ(成虫0.18頭、幼虫0.32頭)の生息虫数も比較的多く、平成27年の直近同時期調査より多数の個体が確認されました。
- (2) ヒノキ球果におけるカメムシ類の口針鞘数が25本になると、ヒノキ球果から離脱すると言われています。各調査地点の口針鞘数と離脱開始予測時期は下表の通りです。

表 8月中旬のヒノキ球果における果樹カメムシ類の口針鞘数

調査地点	豊橋市	豊川市	蒲郡市	蒲郡市	岡崎市	幸田町
	嵩山町	東上町	清田町	神ノ郷町	明見町	須美
1球果当たりの口針鞘数	5.1	1.4	3.0	12.1	3.2	8.0
離脱開始予測時期	9月下旬	10月上旬	9月下旬	8月下旬	9月下旬	9月中旬

### 3 今後の発生予測

- (1) 8月下旬時点で果樹カメムシ類の予察灯における誘殺数は全体的に少ない状況ですが、豊橋市ではクサギカメムシとツヤアオカメムシが多くなっているため注意が必要です。
- (2) 8月中旬のヒノキ球果の口針鞘数から、蒲郡市神ノ郷町では8月下旬に新世代成虫の果樹園への飛来が始まっていると推定されます。他の地域でも9月中旬から10月上旬にかけて飛来が始まると予測します。
- (3) ヒノキ球果の着生量がやや多いため、平年より多くの果樹カメムシ類が果樹園に飛来するおそれがあります。果樹園をよく見て回り、果樹カメムシ類の飛来に注意しましょう。